

参考資料:算出例

	工種区分：治山・地すべり防止工事		摘要
	金額	割合	
直接工事費	50,000,000		
共通仮設費	4,405,000		
共通仮設費(率計上)	4,405,000	8.81%	
共通仮設費に占める実績変更対象費の割合 (借上費, 宿泊費, 労働者送迎費)	521,552	11.84%	
	(= 4,405,000 × 11.84%)		
純工事費	54,405,000		
現場管理費	16,468,000	30.27%	
現場管理費に占める実績変更対象費の割合 (募集・解散費用, 賃金以外の食事・通勤に要する費用)	227,258	1.38%	
	(= 16,468,000 × 1.38%)		
工事原価	70,873,000		
一般管理費等	11,651,000	16.44%	
工事価格	82,520,000		
消費税等	6,601,600		
工事費	89,121,600		

次の手順により共通仮設費の加算額を求めるものとする。

共通仮設費

(1) 積算基準に基づく共通仮設費に「実績変更対象費の割合」(別表2)を乗じて算出する(実績変更対象費①)。

$$\text{共通仮設費} : 4,405,000 \text{円} \times \text{実績変更対象費の割合} : 11.84\% = \text{実績変更対象費①} : 521,552 \text{円}$$

(2) 受注者から提出された「労働者確保に係る実績報告書」のうち、営繕費に係る費用を算出する(支出実績額①)。

(3) 「実績変更対象費①」と「支出実績額①」を比較し、後者が大きい場合はその差額を共通仮設費の加算額として積上げするものとする。

◆支出実績額①が実績変更対象費①の範囲内である場合

実績変更対象費① : 521,552円

支出実績額① : 440,000円

⇒ 加算を行わない

◆支出実績額①が実績変更対象費①を上回る場合

実績変更対象費① : 521,552円

実支出実績額① : 660,000円

⇒ 差額分(138,448円)を計上する

$$\text{実支出実績額①} : 660,000 \text{円} - \text{実績変更対象費①} : 521,552 \text{円} = \text{共通仮設費(積上げ分)} : 138,448 \text{円}$$

現場管理費

(1) 積算基準に基づく現場管理費に「実績変更対象費の割合」(別表2)を乗じて算出する(実績変更対象費(割合分)②)。

$$\text{現場管理費} : 16,468,000 \text{円} \times \text{実績変更対象費の割合} : 1.38\% = \text{実績変更対象費②} : 227,258 \text{円}$$

(2) 受注者から提出された「労働者確保に係る実績報告書」のうち、労務管理費に係る費用を算出する(支出実績額②)。

(3) 「実績変更対象費②」と「支出実績額②」を比較し、後者が大きい場合はその差額を現場管理費の加算額として積上げするものとする。

◆支出実績額②が実績変更対象費②の範囲内である場合

実績変更対象費② : 227,258円

支出実績額② : 190,000円

⇒ 加算を行わない

◆支出実績額②が実績変更対象費②を上回る場合

実績変更対象費② : 227,258円

支出実績額② : 330,000円

⇒ 差額分(102,742円)を計上する

$$\text{実支出実績額②} : 330,000 \text{円} - \text{実績変更対象費②} : 227,258 \text{円} = \text{現場管理費(積上げ分)} : 102,742 \text{円}$$